

# モゲ散歩

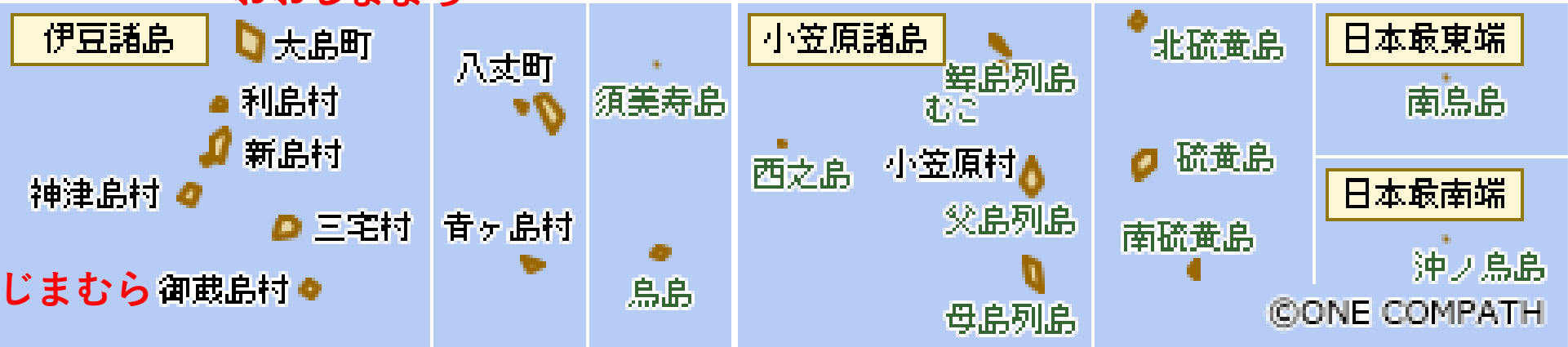
2023年度前期



地名を歩く

# 地名という大きな玉手箱

- 私の住所は東京都調布市緑ヶ丘
- 東京という都にある調布という市の緑ヶ丘という町
- 調布は租庸調の調として古代布を織って献上した
- 緑の多い丘
- という流れになるのでしょうか
- ユーカリが丘（千葉県）    みどり市（群馬県）
- つくばみらい市（茨城県）    南アルプス市（山梨県）
- 山梨県には甲府・山梨・甲斐・甲州・中央各市がある



みくらじまむら



# 山梨県



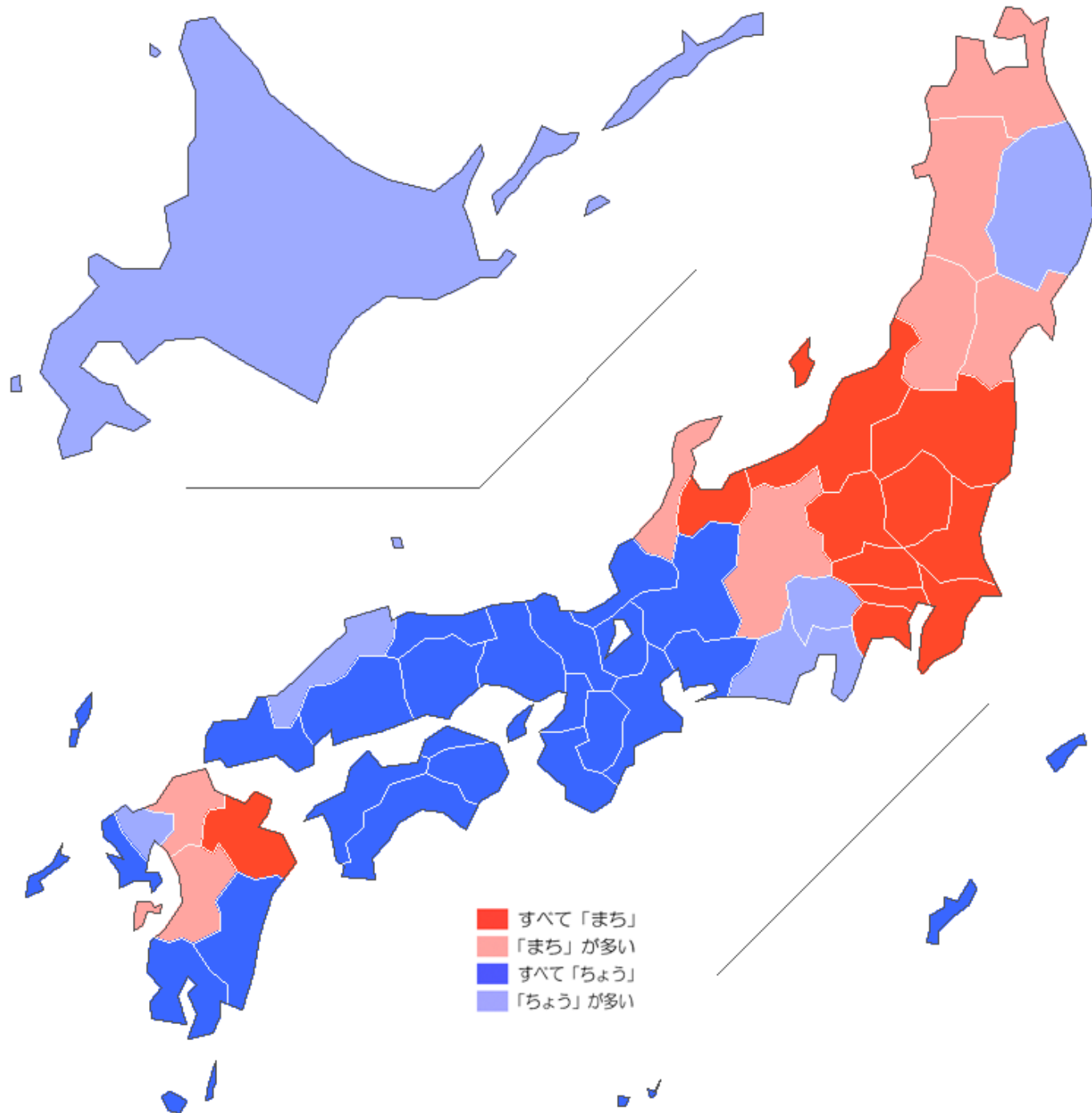
しんじょうそん

かがみのちょう

なぎちょう

にしあわくらそん

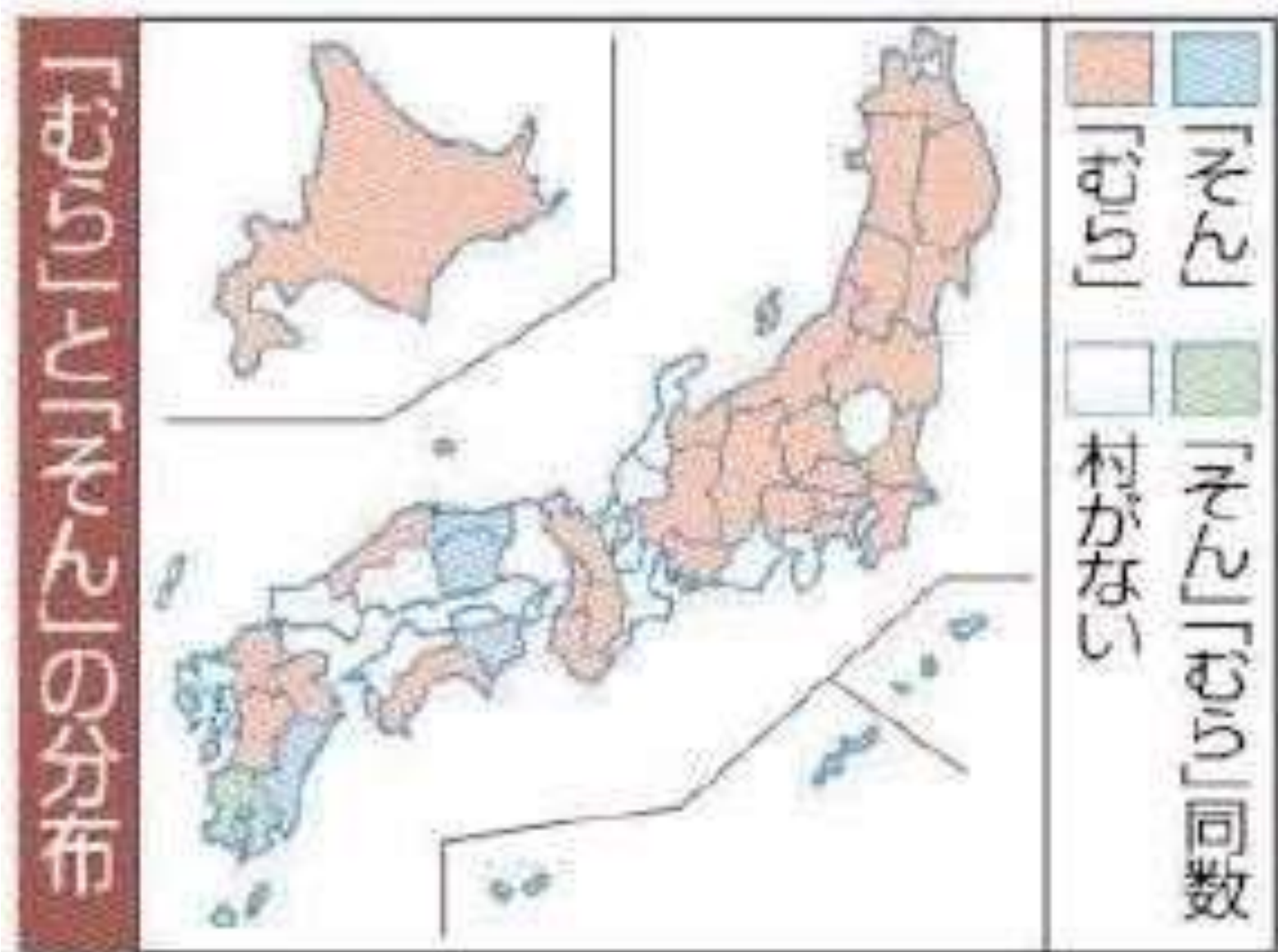
みさきちょう



# 町の読み方

- おおまかに東が「まち」西が「ちょう」
- 北海道は森町のみ
- 山形県は河北町のみ
- 長野県は阿南町のみ
- 静岡県は森町のみ
- 島根県は川本町のみ
- 福岡県は遠賀町のみ
- 佐賀県は江北町のみ

# 村の読み方

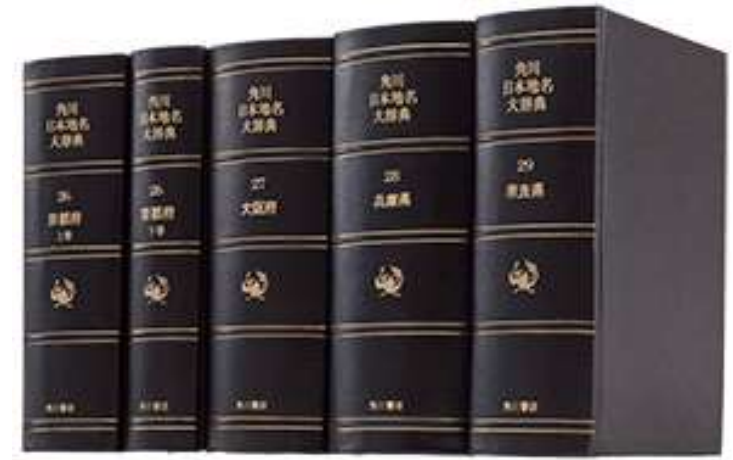


- 町の読み方と似ているようで違いもある
- ムラは共同体の最小単位
- その上に行政単位がある
- そこにソンが位置する



# 地名には謎が多い

- 日本にいくつの地名があるのか
- 地名辞典が各都道府県毎にある
- 古代から現代までの地名を都道府県別に集大成。地名の由来と沿革、その地の歴史を明らかにする
- 山・丘陵・川・湖沼などの自然地名、道路・街道・鉄道などの人文地名も豊富に収録
- 564,000項目（まとめ見出し26万2,000／連立見出し30万2,000）



# まず手始めに

- 東京という地名の成り立ち
- 慶応4年7月11日(1868年8月28日)、明治天皇の「江戸を東京と称す」という詔書により、江戸は東京になった
- 理由は「東国の京」ということ
- 実際は「東京」と表示され「トウケイ」と呼ばれていた
- しかし次第に「トウキョウ」と呼ぶようになり文字も「東京」となっていった

# 日露戰爭卅周年

日露戦争卅周年の日に、日本の歴史に輝く一頁、その雄姿を再び世に示す。その時、日本は、東洋の覇者として、世界の注目を集めた。その偉業を、後世に伝えるため、本紙は、この日、特別の特集を企画する。その内容は、日露戦争の経緯、日本の戦術、そして、戦後の日本の発展まで、詳しく紹介する。ぜひ、この機会に、日本の歴史を学び、その精神を継承してほしい。

●談笑  
この日、東京朝日新聞社では、特別の企画として、日露戦争の歴史を振り返る。その中で、戦場の雄姿、戦士の勇気、そして、戦後の日本の発展まで、詳しく紹介する。ぜひ、この機会に、日本の歴史を学び、その精神を継承してほしい。

この日、東京朝日新聞社では、特別の企画として、日露戦争の歴史を振り返る。その中で、戦場の雄姿、戦士の勇気、そして、戦後の日本の発展まで、詳しく紹介する。ぜひ、この機会に、日本の歴史を学び、その精神を継承してほしい。

十日、満二十周年の光輝ある日露戦役陸軍記念式典を挙げる時、長くも大光帥陛下の行幸を仰ぎ奉る。皇座水へに御降下する。皇座御降下外苑においていよいよ。

## 三老將に謁を賜 祝賀式・行幸に 閑院宮の式辭 式場の威

東京朝日新聞

- 昭和10年3月11日の朝日新聞の見出し
- 東京朝日新聞
- 京の字が京となっている



昭 和 八 年 九 月 十 一 日

東京日日新聞

明治二十五年二月八日 第三種郵便物認可

五・一五事件

- 1933年（昭和8年）の東京日日新聞の1面
- 東京日日新聞は現毎日新聞の前身

# 東京という地名はない？

- 東京駅はある
- 大阪府には大阪市 京都府には京都市
- 東京都には東京市はない
- 北海道と同じ 北海道という地名はない
- 江戸は地名である
- 江戸ヲ称シテ東京ト為スノ詔書 東の京としただけ
- 東京と京都の両京制
- 慶応4年に天皇が東京城に入り一旦京都に戻る
- 明治2年再び東京戻り皇城に滞在そのままになる

# 江戸という地名

- 歴史は古く縄文時代には成立したか
- ヨドと呼ばれていた ⇒ 入り江や河口の低湿地
- 江戸の地名は平安時代の書に出てくる
- 秩父重綱の四男重継が11世紀に江戸へ
- 江戸重継が武蔵国江戸郷を領して江戸氏を興す
- 太田道灌が江戸城を築く
- 徳川家康が入場して拡大 幕府を開く
- 日本の総城下町となる



# さて、ここからが本題です

- 地名を付けるという事を考えてみましょう
- 自分達の生活範囲の中で特色のある場所を他の人にも分かるように名付けたのが始まりだろう
- 水場や獲物を得やすい場所、ここは危険だという事を伝えていく
- 他の集団との支配地域をはっきり区別するために地名を付けていくことも考えられる
- いつから発生したかは分からない

# 人々の活動に広がりがある地名に

- 地形や特徴的なものから
- 山の麓にある⇒ 山本(山元)
- 川に近い⇒ 川辺
- そこから上流であれば川上 下流であれば川下
- 松がたくさん生えている⇒松木 大木の近く⇒大松
- ムラが大きくなると中心⇒村中 北側⇒北村 村上
- 神社の近く⇒宮前 宮下
- 自分達の田畑の中心⇒田中 北側⇒北田 上田

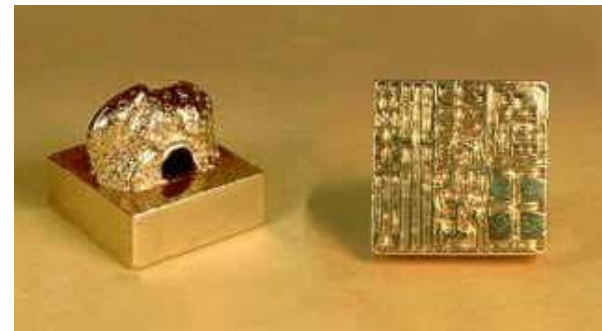
# 由来は必ずしも1つではない

- 今あげたような単純な地名の付け方はそう多くはない
- 特に歴史の長い地名は様々な由来が存在する
- 現在地名の由来には諸説あるというのが一般的でありはっきりしているモノの方が少ない
- 発音や文字から由来を考える
- 歴史や地形から由来を考える
- 信仰や言い伝えから由来を考える
- など様々なものがある



# 言霊としての言葉

- 日本人は古くから言霊ということを知っている
- 言葉が持っている神秘的な力を指す
- 結婚式などで意識されている「忌み言葉」はその例
- しかし、長い歴史の中で地名は口伝えであった
- 文字を持たなかったからである
- 弥生時代の後半には日本に漢字が伝えられる
- 金印や古銭に漢字
- その意味を知る人は極少数





紀元14年 中国の新という国の王様一王莽が作った貨幣  
大阪府亀井(かめい)遺跡、長崎県壱岐(いき)の原の辻(はるのつじ)遺跡などで発掘  
1世紀の中頃には伝わっていたと考えられる

泉貨



漢 倭 國  
王 奴 王

奴の国王が漢の国王に貢物  
を持ってやってきた  
漢の国王が倭の奴国の国王  
に贈った

# 日本での漢字の使用

- 一般的になるのは5～6世紀
- 文字として理解されるようになったのは2～3世紀か
- 三角縁神獣鏡
- 国内で560近く発掘
- 卑弥呼が魏に使節を派遣した『景初三年』(魏の年号・239年)を記した銘文
- 魏の国王100枚の鏡贈る





# 漢字の使い方

- 漢字がもたらされると今まで口伝されていたものが文字によって書き表されるようになる
- 音を漢字に当てはめる 万葉仮名 万葉集で使われた
- 波奈 也麻 といったもの
- 阿 伊 宇 江 於
- 日本の歴史書 古事記 日本書紀
- 古事記 日本最古の歴史書 漢字を借りてやまことばを記するのはいやだ
- 712年(和銅5年) 太安万侶によって編纂された

# やまとことば

- 古くから伝わってきたやまとことば
- 口から出たことばはそばから消えていく
- 語り部によって語り継ぐ その能力によって変化も
- それを史実として記録するためには文字化する必要がある
- 記録されたものが我々が知る古代史につながる
- 邪馬台国では文字がなかったので中国の歴史書から知るのみになっている

# 記紀と言われるもの

- 720年養老4年 日本書記 舎人親王が編者とさる
- 日本最古の正史 全て漢文で表記されている
- 中国に伝える正式な書となる
- 共通点 天地開闢 国生み 神生み 天孫降臨
- 天降ったニニギの命の曾孫が神武天皇 天皇系譜
- 古事記は推古天皇まで 日本書記は持統天皇まで
- 政府は歴史書と共に各国のいわれや物産などを記した風土記を作るように指示する

# 平城京跡で見つかった大型建物跡





# ここで地名が前面に出る

- 日本最古の地名
- 和歌山県橋本市の隅田八幡神社 人物画像鏡



隅田八幡神社・人物画像鏡



癸未年八月日十大王年  
男弟王在意柴沙加宮時  
斯麻念長壽遺開中費直  
穢人今州利二人等  
取白上同二百早作此鏡

## 一般的な読み

癸未の年八月、日十大王の年に  
男弟王が意柴沙加宮に在す時  
斯麻が長寿を念じて、開中費直と  
穢人の今州利等二人を遣わして  
白上銅二百早を取って此の鏡を作った。

# 人名なのか地名なのか

- 意柴沙加宮（おしさかのみや）
- この人物鏡は443年あるいは503年製と考えられる
- 癸未（みずのとひつじ）の年八月十日の記述から
- 443年だとすると允恭天皇が宋から倭国王の称号を貰った年で皇后が忍坂大中姫とする（地名ではない）
- 503年だとすると継体天皇が奈良県忍坂の宮にいたとする



# 埼玉県稲荷山古墳

- ここで出土した鉄剣に多くの文字が記録されている
- 獲加多支鹵大王寺在斯鬼宮
- 獲加多支鹵大王は雄略天皇と同定
- 471年 埼玉の地で有力な臣であったものが獲加多支鹵大王に仕えていた
- 獲加多支鹵大王は斯鬼宮にいた
- 奈良県の磯城といわれる



# 国生みの神話から

- イザナギ・イザナミの二柱の神様が、生まれたばかりの混沌とした大地を天沼矛でかき回しその先端から滴り落ちた塩が島となる
- 淡道之穂之狭島が最初に生まれる 淡路島
- 伊予之二名島 四国
- 隠岐之三子島 隠岐
- 筑紫島 九州
- 大倭豊秋津島 本州 ⇒全部で14の島を作る



# 神が守ってくれている

- 伊予之二名島 は一つの身体で顔が4つあった
- 愛比売 飯依比古 大宜都比売 建依別
- それぞれの地に神が宿り大地は豊かになると考えた
- 日本人の姓の2/3は地名に由来するもの
- 武士は自分の支配地の名をなめる 名字⇒家名
- 武士は先祖が開発した所領を継承する
  - ⇒一所懸命
- 現代人は宗教観がないというが神との繋がりは強い

# 変化する地名

- 言霊として口伝えされてきた地名
- 漢字で表記しなければならなくなる
- 表音文字として利用する 同じ音でも異なる漢字
- 泉 和泉 出水 伊豆見 泉水 すべて「いずみ」
- 伊豆見 伊豆が見える？ 水に関することが多いか
- ここで思い出して欲しいのは最初には音に漢字を当てはめただけ ⇒ 表音文字
- 漢字は表意文字なのでそちらに引っ張られることに

# 地名に関わる大きな問題

- 皆さんは地名に関して由来以外で何か不思議に思ったことはありませんか
- 余りにも当たり前になっているので気づかないかも
- 地名の多くは二文字です
- 和泉 泉水 出水 を「いずみ」と読みます
- 泉という地名はあまりありません
- 津和野 や 津 という3文字、1文字は少ない
- 現在はひらがなやカタカナ地名も多くはなっています

# 地名が変わる

- 烏瑳箇 ⇒ 大坂
- 上毛野 下毛野 ⇒ 上総 下総
- 木 ⇒ 紀伊
- 和銅年間に二字好字政策を実施 ⇒ 中国にならう
- このために三文字や一文字の地名が二文字に
- この時にやまとことばを無理やりに漢字にしていたものがさらに二文字に
- 由来がさらに分からなくなる



# 地名は様々な由来をしめしていた

- 二字になって色々とは分からなくなっていたと言いな  
がらまだ由来をたどることができる地名が多かった
- 地名には2つの種類がある
- トップダウン型 > 政府が決めて庶民におろしていく
- ボトムアップ型 > 庶民の暮らしの中から決まる
- トップダウン型には由来が不明確なものが多い
- 岐阜 織田信長が決める 元々は井口
- 中国の故事 周王朝の岐山 孔子の生まれた曲阜

# 縁起かつぎの地名

- 福という名がつくのは「福がある」=幸せ
- 福井や福島があげられる
- 福井は元々「北ノ庄」と呼ばれていた
- 柴田勝家と羽柴秀吉の戦いの舞台
- 家康の孫がここに入り北=敗北 福居と改名
- 福島は元々「杉目(杉妻)」と呼ばれていた
- 戦国武将木村吉清によって1593年)ごろ、縁起を担いで付けたといわれる

# それでも多くの地名が残った

- 封建制度が地名を残すこととなる
- 封建制度は領主と領民の関係で領民の移動は禁じられていた > 領主は転封(てんぷう)がある
- 領民はそこに生活基盤があった
- 自然発生的にムラができそこで自給自足の生活をしてきた
- 領主はそれに干渉しなかった
- > 地名を改変する必要がなかった

# 最も大きな変化が起きる

- 明治維新が大きなターニングポイント
- 幕藩体制を解体 天皇中心の中央集権国家建設
- 欧米からの干渉をはねのけ強国になるため
- 全国を直接統治下に置き軍事、租税を一手に握る
- 江戸時代まで 幕府直轄領 藩領 知行地 寺社領
- その中に町や村があり住民は賦役や年貢を払う
- 領民は誰に支配されているという認識は薄い
- 町や村は自治組織になっていた



# 明治政府の方針

- 明治政府は旧幕府から所領を没収
- 東京 京都 大阪の大都市を「府」とし、他を県とする
- 県はそれまでの藩主(=大名)に支配させる
- 明治2年 版籍奉還 領地・領民を天皇に返上
- 大名を知藩事に任ずる
- 明治4年 廃藩置県 全ての藩を廃止 3府302県
- 政府が決めた府知事 県令が派遣される
- それでも多すぎたので3府72県に統合する

1868年	政体書 府藩県三治制(9府22県274藩、旧幕府直轄都市に府、旗本領や幕僚に県、府に知府事、県に知県事、藩は諸侯)
1869年	版籍奉還(諸侯を知藩事に任命、知府事・知県事→知事) 蝦夷地を北海道と改称
1871年	廃藩置県(開拓使、3府302県)
1878年	三新法(郡区町村編制法、府県会規則、地方税規制)公布
1879年	琉球処分(琉球藩を廃し沖縄県を設置)
1882年	開拓使廃止(函館・札幌・根室の3県を設置)
1886年	北海道庁を設置(北海道3県の廃止)
1888年	市政・町村制を公布(1道3府43県)
1890年	府県制・郡制を公布

— 府県境    ● 県庁所在地\*  
- - - 旧国境    ■ 府庁所在地

\*札幌は開拓使本庁所在地  
府県名と同じ府県庁所在地名は省略



1871年 琉球王国: 鹿児島県管轄  
 1872年 琉球藩設置: 政府管轄  
 1879年 琉球処分: 沖縄県設置

# 現在の形になる

- 明治12年 沖縄県を設置
- 明治19年 北海道を設置
- 明治21年 現在の47都道府県の形になる
- 同時に市制町村制公布
- 明治の大合併が行われる
- それまで71314の町村名
- 39の市と15820の町村になる
- 村が大字にさらに小字になっていく